

VISION AND POLICYMAKING METHODOLOGY

VPMM研修概要資料
2023/01/22 ver



データアカデミーを超える

- 5年間のデータアカデミーを通じて100以上の自治体にデータ利活用研修を提供してきた結果、いくつか研修に必要な機能が出てきた。
- そう、それは職員さんにビジョンがないことだ。課題が何かわからない、問題が何かわからない。そりゃあそうだ。だって、目指すべきものもなければわからないのは当然だ。



VISION AND
POLICYMAKING
METHODOLOGY

ビジョンから作る

■新しく作り直した「データ利活用の新7Step」

データとデザインで創出する

Vision & Policy Making Methodology



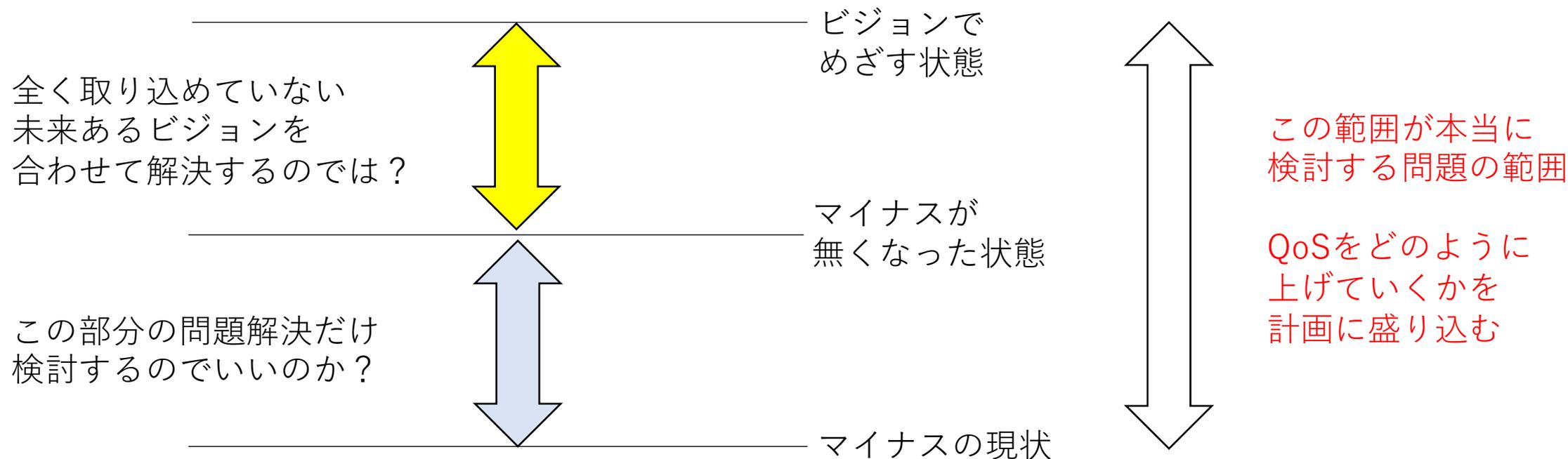
EBPMを合意形成に繋げる

- そして、多くの職員さんは自分の施策のための課題探しと施策の裏付けのためのデータ分析をしたがる。
- 本当にやるべきことは、課題感や施策の方向を数値とともに住民と語り合うべきことでは？施策が始まってからは何がどうなっているか説明できなくてもよいのか？そのために、施策後とともに話せるダッシュボードまで考える。



価値を創造すること

- 「問題が分からない」からデータ分析したい？
ビジョンがなければ問題が分からなくても当たり前。



全体構成の説明

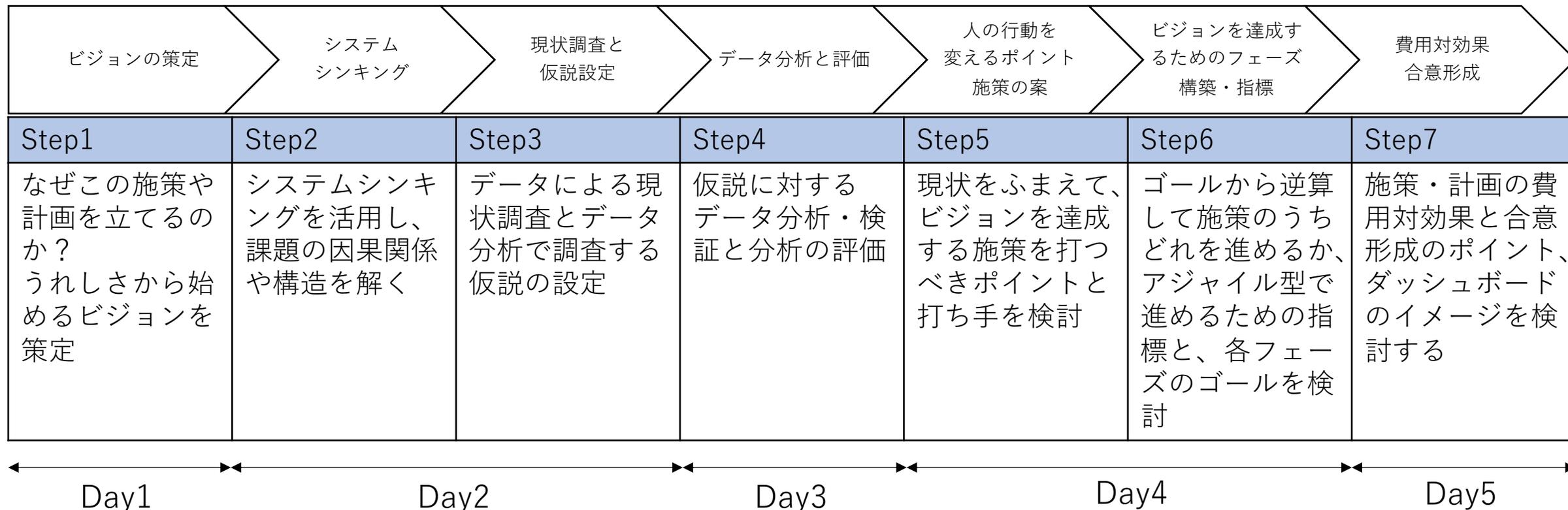


**VISION AND
POLICYMAKING
METHODOLOGY**



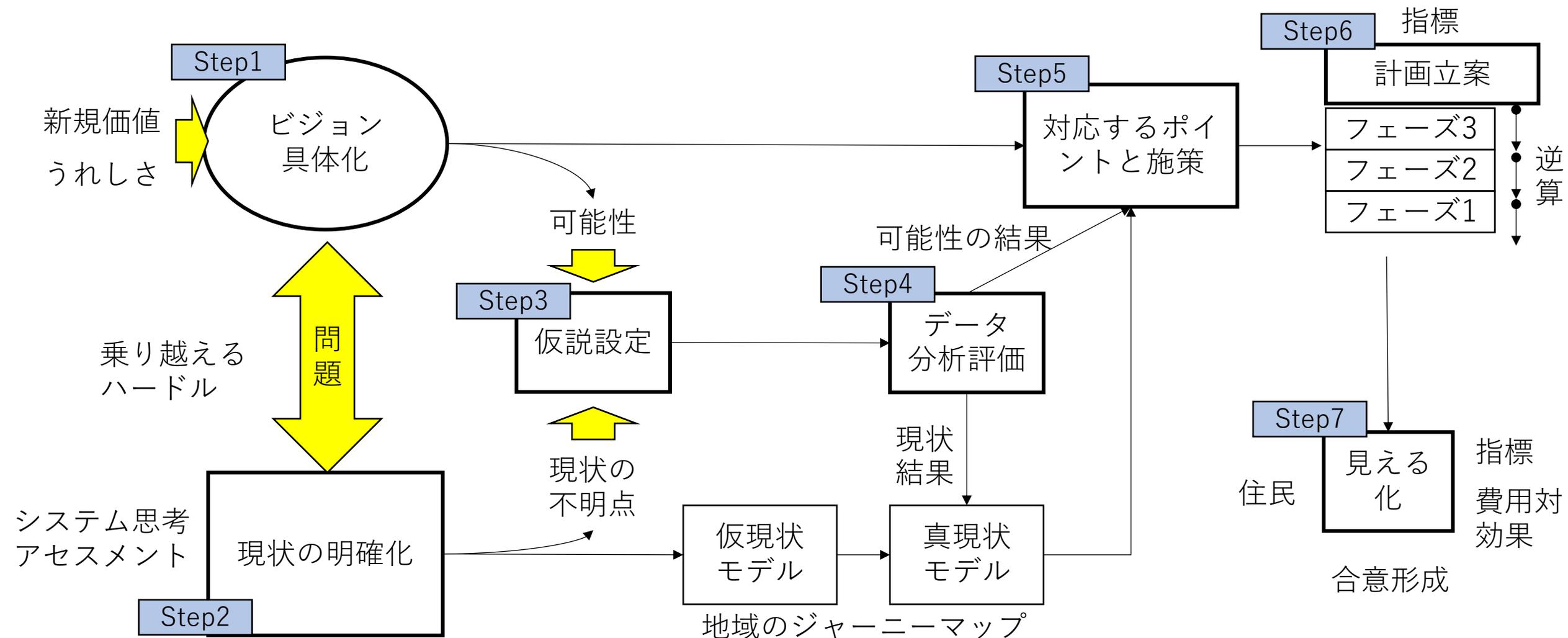
データ利活用の流れ

■3.5h × 5日間で実施します。





Step毎に価値を繋げていく





伴走型それはパートナー

- 当日だけ伴走型と言ってワークショップをする研修があるが、それでは伴走型ではない。我々が行うのはパートナーシップを持った伴走型だ。

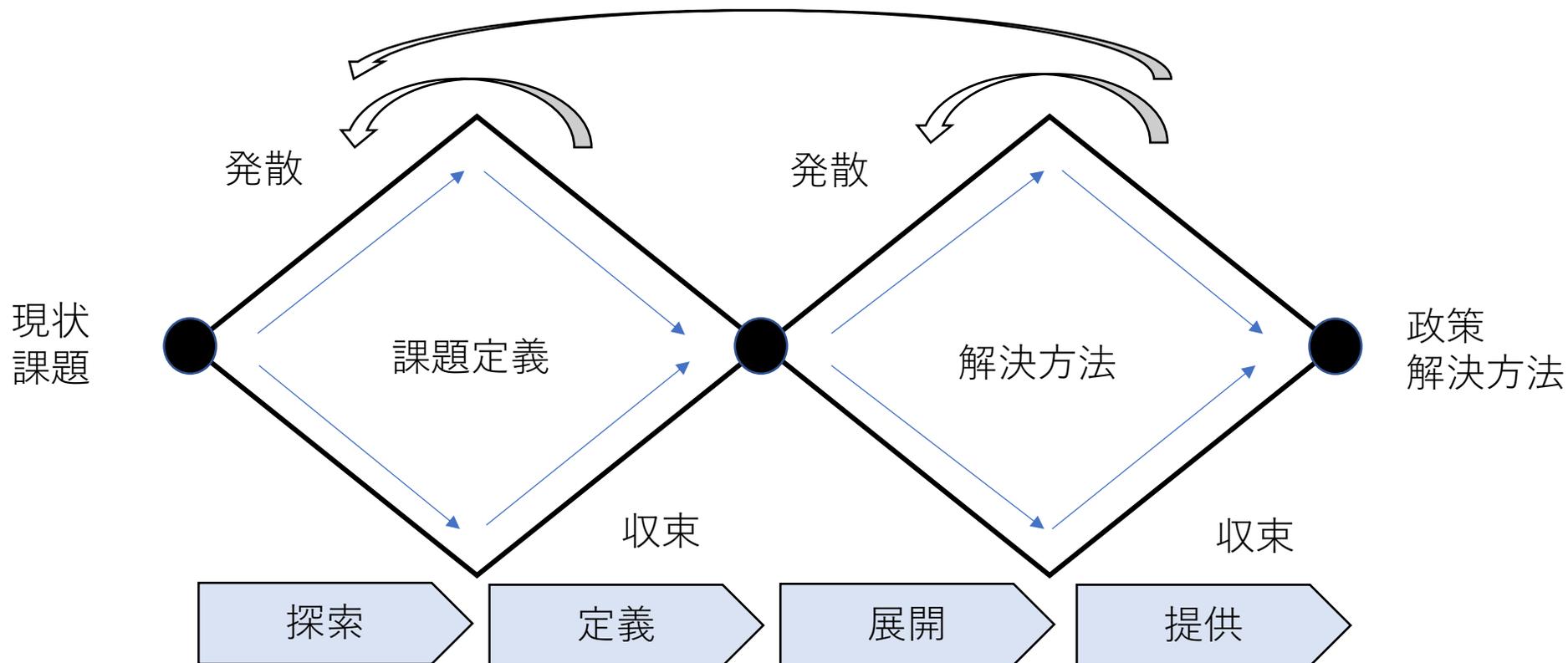




何度も検討を繰り返す

■デザインを用いたダブルダイヤモンドで政策立案する

発散・収束を繰り返しながらブラッシュアップする





グラレコによる可視化

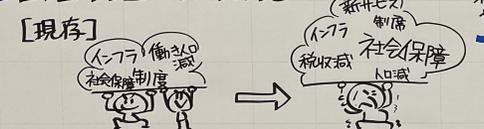
VISION AND POLICYMAKING METHODOLOGY

情報基礎リテラシー

- 理解・客観的にデータを事実として捉える
- 解釈・データに魂を入れる作業
- 分析・データを分けて差異の有無を確認する

分析したら答えは出るの? **数値やデータは答えを出さない!**
 分析 = 根拠 **これだけじゃ足りない!**
 答えは分析結果に**解釈を加える**

自治体2040構想



未来世に何を今からやらなきゃいけないの?
ビジョンはバックキャストで立る
 困った時に立ち戻る場所

デザインを用いた政策立案



指標を複数立る
 モニタリング
 定期的・定期的に観測して状況を把握する

合意形成のためデータを使

データのルールがないと?
 対等な議論ができる



- データマネジメント: 権限、範囲、命名規則 etc...
- データライフサイクル: 新規 → 読込 → 更新 → 削除

データとデザインで創出する
Vision & Policy Making
Methodology

始動



VISION AND POLICYMAKING METHODOLOGY